

三寒四温

三寒四温という表現は、今がぴったりの時なのでしょうか？ 東京では桜の開花宣言が有ったのに、ご当地尾花沢では吹雪いておりました。それでも、“温”で一度あたたまった地表では、積もった雪も、すぐに水と化して終わりました。春はすぐそこ迄・・・。



今回も言い訳から始まります。2・3月は年度末の行事が重なり、殆どの週末に上京して居りました。“つばさ”での往復でしたが、疲れるのでしょうか？原稿締め切りをすっかり飛ばし(忘れて)、一週間も過ぎてしまいました。お願いしている出版社の方々には、平身低頭、平謝りです。でも、何回も繰り返していることを省みると、疲れは口実でもっとぞっとするような別の理由が出来つつ有るのかも！！

年度末の区切りという事で、異業種の人々が参加する団体で、反省会が開かれました。創立50年を迎える組織ですが、いろいろの都合で辞めてしまう人が多いことや新たに参加する人が少ない為、どのようにして継続させるかが当面の課題のようです。奉仕活動を主とする内容に、参加する人の価値観が変わりつつあることの表れかな？とも考えております。



横綱・稀勢の里が13日目の大怪我を克服して優勝決定戦まで戦って優勝しました。当初痛さのためうめき声を発する怪我で、左腕を動かさず、救急車で搬送された状態であったようです。19年ぶりの日本人横綱が新横綱場所での優勝、22年振りの快挙だそうです。でも横綱になれる体の持ち主だからこそ出来た賜物、誰でも出来る事では有りません。決して真似をしたり、○○の冷や水と言われるような、お試しは止めましょう。

花が咲きますよ、鳥雲の無い満開が、楽しみです。

良い内容で締めくくれるのは、嬉しいことですな。

皆さん、くれぐれも無理をしないでお過ごし下さい。